



めろん  
目安箱



読者のみなさまからのご意見、感想、コメントをお寄せください！QRコードもしくはinfo@mafga.or.jpまで。

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

## 誠に残念ながら…20年間発行してきた『めろん』を2026年度より休刊します！

事務局とボランティアと一緒に編集をおこなう「めろん」の創刊は2006年4月1日。それまでボランティアさんたちが自由に編集、発行していた『TOMODACHI』というニュースレター（当時は不定期発行）をバージョンアップさせて発刊した。『TOMODACHI』のある時期からいままで関わってきたのは荻野さんと崔さん、岩城の3名のみ。途中で年4回発行、という年も1年ほどあったが、今回の決断の舞台裏について皆様に報告する。

### 協会の基本的な考え方（組織全体でのばす方向性）

事務局が実質2名減となる一方で、新たな人員の補充がなかなか進まない中、まずは事務局全体で今後集中的にのばすべき事業のあり方についてマネジメントメンバーや事業課の職員で何度も話し合った。結論として確認したのは、若い世代の外国にルーツをもつ当事者を中心に事業を展開すること。協会事業の2本柱は「子ども」と「相談」だが、メインターゲットとして、中学～高校生ならびに高校を卒業して数年間ほどの若者（中でも進学していない人たち）の進路&キャリア形成支援に力を入れることになった。

箕面市では、日本語指導が必要な子どもの数が、2025年度当初（4月1日現在）は37名であったが、12月には80名となり、中高生や卒業したあとの若い世代の支援が喫緊の課題となっている。限られた人員で効果的な事業運営を図るため、以下の8項目において事業の選択と集中、自主運営化を進めることとした。

	方向性	内容	ねらい・効果
①	統廃合	「萱野にほんご」の終了	箕面市の中部地域には、現在「萱野にほんご（金曜 19:00～20:30）@らいとぴあ」と「せんばこどもたぶんかクラブ（通称「せんくら」木曜 16:30～18:30）@阪大図書館3階AV コモンズ」「せんばにほんご（木曜 17:00～18:30）@船場生涯学習センター」の3クラスがある。事業の選択と集中を考える上で、「萱野にほんご」が「せんばにほんご」と同じ中部地方にあること、また参加者数や駅からの立を考慮し統廃合の対象とした。
②		「せんばわかもの」新設（7月以降）	日時：隔週木曜日 18:30～20:00（年24回） 実施場所：市民ギャラリーチカノバの「メインギャラリー」または「会議室」 対象：中学生以上、おおむね30歳くらいまでの外国人市民、阪大留学生など 内容：若い世代の日本語支援、教科学習支援、居場所づくりなど 日本語・若者支援アドバイザーを1名おき、外国にルーツをもつ数名の若い当事者を「BA=場づくりアシスタント」として配置するほか、ボランティアによる個別指導をおこなう。

No.223 発行元・返還先：（公財）箕面市国際交流協会

【賛助会員数】個人：290名 法人：23団体（3月18日現在）

〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター内

Tel： 072-727-6912

Fax： 072-727-6920

E-mail： info@mafga.or.jp

Web： https://mafga.or.jp



	方向性	内容	ねらい・効果
③	新企画	就労層の多い「ひがしにはほんご」で月1回、朝昼兼用ごはん(ブランチ)交流のしくみをつくる	毎月第4日曜日に午前・午後と調理実習室を借り、料理をしながら交流するチームと個別学習をおこなうチームとに分かれて活動する。その後お昼ご飯を一緒にとった後は片付けをし、ボランティアミーティングもおこなう。
④	新設	日本語支援ボランティア養成連続講座の実施(年7回)	年度当初(5・6月)は、外国にルーツを持つ子ども・若者の支援をテーマに何度か開催する。「せんばわかもの」ボランティア養成講座と兼ねる)
⑤	統合	「多民族フェスティバル」2026年度は実施せず、2027年5月の開催に向けて準備	フェスティバルが室内開催になったことにより、毎年5月の第2土曜におこなわれる周年イベントと同日に開催することで効率化を図る(実行委員会や企画運営委員会は下半期より立ち上げ予定)。
⑥	自主グループ化	「みのおポスト」(市報「もみじだより」の多言語翻訳)グループの自主化	職員の関与をできるだけ減らし、「みのおポスト」編集グループへ再委託する。
⑦	削減	阪大箕面キャンパスで実施している若者の居場所事業「ひとこま」の実施回数の削減	毎週水曜日・木曜日の開催を週1日(水曜日のみ)に変更する。
⑧	効率化 /統合 /削減	comm cafe1号店・2号店の協力体制の構築 2号店(カフェ・チカノバ)営業日時変更	仕入れと仕込み、メニューを統一し、職員も互いに行き来し合いながら拠点間の連携強化による運営の効率化と交流促進、コスト削減をはかる。 ※変更後の営業日時は、5ページをご覧ください

これ以外にも、来年度は箕面市が自治体国際化協会からの助成を受け、箕面市で意識調査や外国人当事者のキーパーソンを発掘・養成する事業を展開する予定。業務量をいったん見直し、職員の体制を整えて大きく変わりつつある地域の今後20年を見据えた事業の改変をおこなうための休刊。苦渋の決断だが、「めろん」グループは解散せず、今後の活動や新たな発信方法などについて来年度話し合っていく予定だ。(岩城)

【今後のイベント・セミナーなどの案内につきまして】

今後、多文化交流センター・市民ギャラリー「チカノバ」で主催するイベントや、協会からのお知らせなどにつきましては、協会メールマガジン「MAFGA NOW」にご登録いただければ、メールアドレス宛に配信しますので、ぜひ、ご活用ください。「MAFGA NOW」登録は、下のQRコードを読み取るか、mafga-now-apply@mafga.or.jpに空メールを送ってください。



メールマガジン「MAFGA NOW」登録

ECCジュニアで楽しく英語を学ぼう!

### 小野原教室

小学1-3年生クラス 16-17時  
小学4-6年生クラス 13-14時

場所: 箕面市立多文化交流センター  
電話番号: 05071193794  
メール: c\_rieyama@icloud.com

We are friends!  
ECCジュニア

大阪大学 × MAFGA  
学生・若者が地域とつながる居場所

## ひとこま

活動日時: 水曜日 10:00~15:00  
木曜日 11:00~16:00

対象: どなたでも  
場所: 大阪大学箕面キャンパス3F  
(テラスと食堂の間の廊下)  
祝日、年始年末はお休み  
\*昼休みなどの長期休暇は水曜日のみ

チカノバ  
運営母体: (公財) 箕面市国際交流協会

テーマは「フード」×「アート」×「ハート」!

★ギャラリー(水~日)  
10:00~21:00

★カフェ(水~日)  
(comm cafe2号店)  
11:00~20:30

※不定期営業の日があります。くわしくは、Instagramから毎月の営業カレンダーをチェック!

北大阪急行線・箕面船場阪大前駅 改札階(地下3階)  
(〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー)  
072-734-8711 (ギャラリー) / 072-734-8722 (カフェ)

『めろん』の編集や印刷などのボランティアを何年もやってきました。その編集会議ではいろいろな問題などに対する自分の思いを何の気兼ねもなく口に出すことができたように思います。今、一般社会は『めろん』が目指したものと逆の方向に進みかけているように見えます。MAFGAからの発信の必要性がますます強まっている時に『めろん』を休刊せざるを得ないのはたいへん残念ですが、『めろん』の復刊ということだけでなく何らかの有力な発信ができるのであれば、微力ながら協力したいと思います。

鷲尾 則昭

住んでいる地域で何かお手伝いを、と探していたところ、『めろん』編集部がボランティアを募集していることを知り、加入させていただきました。2020年のこと。最初の3年半は記事を書き、この2年は発送大会のみの参加だったが、実にいろいろなことを経験させていただきました。セミナーやイベント取材したり、書評を書いたり、多民族フェスティバルや阪大夏祭りで『めろん』のブースを出したり。コムカフェで開かれた『国境なき医師団』の証言活動(報告会)も印象に残っている。日本で暮らす外国人の種々の大変さを垣間見、多文化交流の大切さを知ることでも、自分の力不足を顧みつつも充実した時間をいただいた。意義深い冊子だった『めろん』、休止の後、形を変えても復刊を!

山下 三千世

## 『めろん』休刊に寄せてのメッセージ

健康第一。今は職員の方の疲労度が高く感じるので、取りあえず休刊にしてください。まずは必要な人員の確保ですね。『めろん』は架け橋と思っています。

湯川 あさ子

2025年4月に小脳出血で救急搬送され、以来、手術とリハビリで休職しています。事務局のことも全然わかりません。今は自宅療養中です。2008年から mafga にいるので、いろいろありました。地域世界も変わりました。私も、みなさんも年を重ねました。病院のベッドで目が覚めてみたら、世の中は大きく変わり、世代が代わっていくのも感じます。最近の座右の銘は「大丈夫 心配するな なんとかなる」です。まあ、なんとなるでしょう。それでは皆さん、またお会いしましょう!

河合 大輔

日本社会での不条理を感じながらも、めろんと関わる中で、奮闘努力する職員やボランティアを目の当たりにし、「もう一つの社会の存在」を感じながら当事者ボランティアとして、社会の中で踏ん張る原動力を日々得てきた。職員、ボランティア、当事者の3者が一緒になってつくってきた『めろん』は協会の顔でありながら、ボランティアと職員が本気で向き合う場でもあった。ある意味で、両者にとって「心の拠り所」だったに違いない。

「まさか」という思いの中、協会は良くも悪くも一つの大きな決断をした。この重い決断をどのように活かしていくかは、めろんに関わる全ての人の課題だと思う。

荻野さんをはじめ、編集・発行に関わってくださった方に、そして長年の読者として支えてくださったすべての皆様に感謝申し上げます。

崔 聖子

## 唐木幸子バレエスタジオ

やさしいバレエの基本動作を正しく身につけて  
美しい姿勢と健康を保ちましょう

「ロシア国立ペルミンバレエ学校日本校」のバレエ教授法(Diploma)取得



唐木幸子バレエスタジオ 検索



TEL 072-721-2576

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅前

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員



昨年の参院選以来、一部政党による排外的言動が続いている。箕面でも外国人に懸念を持つ人が生まれかねず、外国人市民も不安になりがちな、多文化共生にとって憂慮すべき状況だ。今は当協会が一番情報発信しないといけない時期ではないか。賛助会員対象の月刊誌「めろん」の休刊は残念だ。しかし今は、この状況の影響を受けやすい一般市民への発信がより重要と思う。それは当協会に余りやってこなかった。MAFGAを余り知らない彼らに箕面の多文化共生の現況を年2回位、定期的に発信すべきだ。分かり易く、国の言う「秩序ある共生」を、誰をも納得させる正しいデータを混えて伝える。課題があればどう改善するか隠さず伝える。先ず市と外国人市民に関する正しいデータを取るべき。これが今なすべき挑戦と思う。

荻野 克彦

今年で69歳。この10年間の情報環境はそれ以前の数倍速い。電車に乗って感じる虚無感は何、座席では下を向きスマートフォンに夢中、居酒屋の注文はQRコード、否定をしないAIが答え、連絡はLINE。街では公衆電話が見当たらない。数枚あるテレホンカードは使えない。変わりたいけど、なかなか変わらない、でも変わらなければ。MAFGAの月刊情報誌『めろん』の休刊。しかし、これからも人の心を持った言葉で、形を変えて発信し続けていこう。

宇治野 清隆

『めろん』は私の命そのもの、という媒体だったが、業務量を2割削減させるために今回は苦渋の決断となった。しかし必要なものは必ず残るもの。体制を立て直して、「いったん休刊したら復活は難しい」というこの種の発行物のジククスをかならず破りたい。

岩城 あすか

めろん休刊、え〜〜〜？ いいえ、どこかで予感していました。人に伝えたい、聞いてもらいたい、今こそそのような人々が箕面にも大勢いて、めろんが皆様の声を吸い上げなければいけない、なのに人が足りない、皆疲れている。こんな時、何かを捨てることは大事です。でも捨てる物を間違えている、私はもう一度考えてほしいと願います。

井嶋 真佐子

2023年度に『めろん』担当となつてから、早3年。読むのとつくるのでは大違いで、失敗も経験し、たくさんのお話を学ばせてもらった。自分の家族のことを発信する機会もあり、記事を読んだボランティアさんから声をかけてもらったこともあった。私は2026年3月末をもって、MAFGAを離れることになったが、世の中に恣意的な情報があふれる中、媒体を問わず、協会から何らかのメッセージを発信することは必要だと感じている。

坂口 ピーター

『めろん』には、「アートの小箱」の記事で、数年前からかかわってき始めた。昨年度は途中から担当として関与し始めた。その関連で、1号からざっと目を通して見たが、最初のころの記事には勢いと執筆者の温度が伝わるものが多いように感じた。ときには、「え？こんなこと書いても大丈夫、、、？」というような、いい意味での攻めた記事や企画もあった。いち読者として、ドキドキワクワク、また憤りや葛藤がダイレクトに伝わる媒体だったと思う。それと比較すると、ここ数年の『めろん』は、どこかおとなしく、勢いが削がれているような印象を受けた。それが協会の組織としての影響なのか、それとも別の理由があるのか考えないといけない。歴史のある機関紙が「休刊」するのは残念だが、休んでみて見えてくるものは間違いなくあると思うので、それがどのようなものなのかを考えている。「(休刊)のお知らせに、すでに数名の方から「さみしい!」「楽しみにしていた!」という声を頂いている。普段聞こえない反応を聞いたのも、このような機会だからともいえる)

野崎 ターラー

## KIMONO CHALLENGER 着物教室

初めてでも大丈夫! Let's enjoy wearing Kimono!

初心者向けの着付け教室を始めます

基本の着付けから学べます

海外の方も大歓迎! 簡単な英語対応可

講師は着付け技能士1級(国家試験)取得

お問い合わせ anitomo23@outlook.jp



CERES\_KIMONO

インスタもあります!



## 国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

### 多文化体験

#### 多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」

地域の子どもたちが外国人市民との交流を通して、自分たちの周りにおける多様性を体験し、お互いの違いを学び合います。タイのデザインカット (切り絵) とイランのじゅうたんづくりを体験します。

- ◎ 中川ノック (タイ・バンコク出身)
- ◎ ジエイメヌシュ (イラン・イスファハーン出身)

4/4 (土)  
14:00-16:00

対象：小学1年生～4年生  
場所：多文化交流センター  
参加費：無料  
定員：20名  
申込み：QRコードから



申込み

### 募集

#### 2026年度インターン募集

地域社会で働くという経験を通して、多文化が共生する社会づくりに向けた次世代の人材を育成するため、協会ではインターンを募集します。

国籍・年齢・性別は問いません。※高校生不可

4/17 (金)  
しめきり

対象：留学生および大学生など  
主な活動場所：多文化交流センター  
謝礼：1,276円/時 (交通費を含む)  
募集人数：3名程度  
応募方法および詳細：右記QRコードから



申込み

## 2026年度開講・語学講座 受講者引き続き募集中!



【国際理解のための語学講座】英会話 (7講座)・イタリア語 (2講座)・子ども向け英会話 (1講座)  
開催場所が、多文化交流センター・西南生涯学習センター・船場生涯学習センターの講座です。



開催場所によって、受講料が異なります。それぞれのQRコードから、詳細をご確認ください。

【チカノバで開催する語学講座】英会話 (2講座)・中国語 (2講座)  
開催場所が、市民ギャラリー「チカノバ」の講座です。



【両プログラム共通】空きのある講座は、引き続き、随時受講者を募集します。受講者の募集の有無については、お問い合わせください。

## 4月以降、賛助会員の更新手続きをお願いいたします。

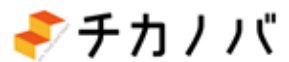
賛助会員 (都度会員) の更新手続きは、4月1日以降にお願いします。なお、クレジットカード自動引き落とし (更新手続きが不要) が可能な「継続会員」での手続きもできますので、ぜひご利用ください。



【問合せ】(公財) 箕面市国際交流協会 (MAFGA) メール:kaiin@mafga.or.jp TEL:072-727-6912

## 4月からの comm cafe 2号店の営業につきまして

(カフェ・チカノバ)



2026年4月からの comm cafe 2号店の営業曜日・時間につきまして、以下の通り変更させていただきます。

	月	火	水	木	金	土	日
基本営業時間	店休日	店休日	11:00-18:00	11:00-18:00	11:00-20:30	11:00-20:30	11:00-18:00

※営業時間については、日によって変更する場合があります。毎月のカフェ営業カレンダーをチカノバ Instagram および店舗でお知らせしますので、確認してからご来店いただければ幸いです。(カフェ・チカノバ スタッフ一同)



チカノバ Instagram



スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

### 町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接のせて服をつくってみましょう!  
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得  
昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー  
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151  
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

4月  
March

# comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

こちらは、多文化交流センター(小野原)のコムカフェ1号店のメニューです

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きよ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook/Instagram をご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



AirPAY を導入しました!  
クレジット決済、各種電子決済、  
QRコード決済がご利用いただけます。

**火・木～土** 9:30-11:30 カフェタイム  
11:30-14:00 日替わりランチ (1,100円)  
14:00-17:00 カフェタイム

**日・祝日** 9:30-17:00 カフェタイム

カフェタイムはスナック・ドリンクを提供します

## おしらせ

comm cafe の毎月のカレンダーにつきましては、comm cafe の Facebook・Instagram で引き続き発信していきます。お見逃しなく。

ス… スナックの日

📍… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
		1 店休日	2 ス MAFGA スナック	3 ス MAFGA スナック	4 ス MAFGA スナック	5 ス MAFGA スナック
6 休館日	7 コスさん 《タイ》	8 店休日	9 山口さん 《中国》	10 へばさん 《シリア》 HALAL	11 ホーさん 《香港》	12 ス MAFGA スナック
13 休館日	14 ノックさん 《タイ》	15 店休日	16 ス MAFGA スナック	17 ス MAFGA スナック	18 へにさん 《ハンガリー》	19 ス MAFGA スナック
20 休館日	21 ファルザナさん 《バングラデシュ》 HALAL	22 店休日	23 へばさん 《シリア》 HALAL	24 洪さん 《コリア》	25 ス MAFGA スナック	26 ス MAFGA スナック
27 休館日	28 ノックさん 《タイ》	29 祝日 ス MAFGA スナック	30 ス MAFGA スナック			

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、鳥羽山良平、山下三千世、湯川あさ子、鷺尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、野崎ターラー